《セッション構成案》

■内科・外科シンポジウム１（120 分）
透析症例に対する治療

論点：本邦は透析例が多く、透析例は高齢化が進んでいる。弁疾患、PAD、脳血管障害の合併も多く、感染症もリスクも高い。PCI においてはカルシウム nodule に対する戦略が大きな課題である？透析例に対する治療戦略について議論する。

座長：内科 東京女子医大 山口淳一 先生 外科 自治医大 山口敦司 先生

Overview：病理からみた透析例の血管病変
三井記念病院 矢作和之 先生 （発表 20 分・質疑無し）

内科
１：本邦における透析患者に対する PCI の現状と問題点
足利日赤病院 沼澤洋平 先生 （発表 15 分・質疑 5 分）
２：透析患者に合併する冠動脈疾患
東京女子医大 嵐 弘之 先生 （発表 15 分・質疑 5 分）

外科
１：透析症例に対する CABG 戦略

滋賀医科大 鈴木友彰 先生 （発表 15 分・質疑 5 分）

２：透析症例に対する冠動脈バイパス術の成績と問題点

埼玉医科大 中嶋博之 先生 （発表 15 分・質疑 5 分）

総合討論（20 分）